

抗酸化力を「見える化」

経産省 富大などの事業採択

富大は21日、経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業に、富大などが提案した活性酸素生成装置の開発事業が採択されたと発表した。大気庄プラズマを利用し、活性酸素の生成量をコントロールできる装置の開発を旨とする。食品やサプリメント、医薬品などの抗酸化能力の測定に役立つと期待される。

簡便な装置を開発し、確実に効率的な評価方法の確立につなげる。事業は大阪市の誠南工業と富大大学院放射線基礎医学講座(近藤隆教授)、金大サステナブルエネルギー研究センター(石島達夫准教授)が提案した。研究開発の補助を受け、誠南工業が中心となり、支援企業として立山マシン(富山市)が加わって3年間で装置の製品化を目指す。

富大の現状理解 富大のダイバーシティ研究環境実現シンポジウム「富山大学女性研究者支援

男女共同参画 富山の現状理解 富大のダイバーシティ研究環境実現シンポジウム「富山大学女性研究者支援

の試み―各部署の現状と挑戦」は21日、五福キャンパスで開かれた。富大の職員や一般参加者約100人が、男女共同参画を目指す取り組みや学内の現状について理解を深めた。

基調講演では大阪大の瀧原圭子総長特命補佐が講演した。瀧原氏が所属する日本循環器学会の取り組みを紹介し、女性が仕事を続け

生が憧れる職業重要」「出産を大学全体だ」との意見 文部科学省 材育成費補助 シティ研究環

「寒鰯大敷網」に大臣賞

山形の海づくり大会



社員と環境大臣賞の受賞を喜び、酒井社長(中央) 氷見市内

山形県酒田市でこのほど開かれた「第36回全国豊かな海づくり大会」の功績表彰で、酒井水産グループ(氷見市)の定置網漁業会社「寒鰯大敷網」(七尾市)が資源管理型漁業部門の環境大臣賞を受けた。台風で流出したり、網目を大きくして小魚を逃げやすくする水産資源保護の取り組みが評価された。

氷見・酒井水産グループ 資源保護で評価

酒井水産は2014年に「マリン・エコラベル・ジャパン」(東京)の生産段階と流通加工段階の認証を取得し、水産資源と生態系の保護の取り組みを、魚の箱に張るエコラベルで発信している。

表彰は栽培漁業部門など3部門に分かれ、民間企業で受賞したのは寒鰯大敷網だけだった。

歓迎レセプションで皇后陛下から「水産資源を大切にしてください」という言葉が掛けられたという。酒井光二社長(43)は「自然の恵みを大切にしたい」という理念は祖父の代からのもので、従業員全員が実践してくれたことが評価された」と喜びを語った。

最優秀賞に上田

国際理解作文コンテスト



「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト」県大会(富山新聞社後援)の審査結果は21日発表され、最優秀賞に上田倫弘さん(南砺市井口中3年、写真右)の「今年、加

「今年、加」の今年、加回目の安保理となった日本な取組を行うの平和と安全か。」「相互る世界平和、文は中央審査の皆さん。

▽佳作 片山歩 五十嵐斎来(射水 智生(同) 森秀太 加瀬水香(射水市 葉射水市小杉中、 三角悠太(高岡市